

神奈川県高等学校バスケットボール新人大会開幕!

平成30年度 神奈川県高等学校バスケットボール新人大会西支部予選が11月3日から始まった。新人戦を迎えるにあたって、強豪校との練習試合、遠征、合宿、日頃から鍛えたチームディフェンスと走力を武器に新人大会を全員で迎えることができた。

星槎国際湘南男子バスケットボール専攻の目標は神奈川県BEST8に入る。目標を達成するために、どの試合も絶対に負けない。11月4日から星槎国際

湘南の初戦が開幕した。1回戦の相手は平塚中等教育学校。試合前のミーティングで選手たち、「試合の入り大切にしよう」と言葉を掛けコートに送り出した。試合開始から激しいディフェンスで、相手のミス誘い得点を量産し、相手のシュートが決まってもすぐに点を取り返すことができた。試合を優位に進めることに成功し、前半を終了。控え選手や1年生も一丸となり、チームの勢いもさらに増しリードを譲らず107-

43と快勝し無事に初戦突破を果たした。チーム最多の40得点15リバウンドのダブルダブルを上げた勝田輝翔は「自分のミスも多く納得いく試合ではなかった。もっとミスをなくしてチームの勝利に貢献したい。」と次戦への意気込みを語った。

2回戦目は県立伊志田高校。1回戦の勢いのまま最終順位に進めることに成功。チームの約束事である、「堅守速攻」そのために、全員で守りボールを奪取し、先陣を切つて走り、得点を取ることができた。和田長がこの試合37得点と大爆発。試合を振り返って「3回戦も自分が走ってチームに勢いを与えていきたい。次戦も頑張ります。」と笑顔で語った。

「星槎に走られたらどこからでも得点できる」という印象をアピールしていききたい。

まだまだ、改善することが多くあるが、それ以上に、今回の新人戦1試合1試合を通して生徒一人ひとり、チーム全体の進化、成長を感じることができている。

応援してくれている人、家族のために我々は突き進みたい。「星槎のバスケットは見ていて気持ちがいい」「楽しい」と様々な声を頂いているので、自信に繋がっていききたい。

この後も3回戦、4回戦、準決勝、決勝が控えているので、「勝って兜の緒を締めよ」と言葉がある通り、一戦必勝で今後の試合に臨みたい。感謝の気持ちを忘れずに応援されるチームを目指していききたい。

後半2分、中盤で高音と三上がワンツーで抜け出し、相手を崩した高音がドリブル突破。ペナルティエリア内で再び

2018年11月10日(土)、11日(日)、横浜市旭区の星槎中学高等学校にて、今年で第4回を迎えるSEISA Africa Asia Bridge 2018が開催された。今年も「繋(ちぎ)い...知ること、繋がること」をテーマに、アフリカ、アジアの大使や大使館関係者、国内では外務省、JICA、神奈川県や各市町村などから、多くのゲストを迎え、大盛況となった。

星槎国際湘南のエリートリヤアプータンの留学生たちも多くのプログラムに参加。野外で催されたスポーツ交流においては、アーチェリー体験コーナーを担当。プータン出身のツェリング・ペンジョ(陸上競技専攻)は、全国中高生徒による「YOUNG TIGER」にて見事なプレゼンテーションを披露。エ



アーチェリー体験

リトリア出身のデジエン・テスファレムは、オリンピックや世界大会金メダリストとのトークショー、「夢トーク2020」にも参加した。そして2日目の「マルチエイジディスカッション」には、星槎国際の留学生に加え、チームメイトでもある日本人生徒、そしてSAABのために来日したプータンのロイヤル・ティンプーカレッジの大学生4名も加わり、「あなたにとつての豊かさとは何か?」について意見を交わした。「スポーツ」を超えた多くの分野での交流が生まれると同時に、「アスリート」という枠を飛び越えて、年齢も国籍も様々な人々がスポーツを通して繋がった。まさにアフリカ、アジア、そして日本に友好の橋をかける2日間であった。2020年、そしてさらに未来へと向け、星槎グループはこの取り組みを継続していく。

未来に向けて
スポーツを超えて

SEISA Africa Asia Bridge 2018 開催!



SAAB 参加者

高体連Cチームのリーグ戦最終節が、10月8日に行われた。先発メンバー10人でのスタート。前半6分、センターバックの石田直登から石綿勇哉へ精度の高いロングパスが出るも石綿のシュートは惜しくもキーパーに阻まれる。8分には、右サイドでボールを持った高音右京が中へ切り込みオーバーラップを出し、キーパーと一対一になるもオフサイドの判定。15分、品田誓也の裏へ長いロングパスを出される。クロスを上げられシュートを打たれるも鈴木凜之助が落ちて着いてキャッチ。20分、右サイ

ディフェンスラインの石田から素晴らしい抜け出しをした佐藤へロングパス。佐藤が落ちて着いてゴール左隅に流し込み5点目。25分、品田、石綿、森熊で左サイドを崩し、最後は森熊のミドルシュートがゴール右隅に決め6点目。27分、相手のゴールキックから運動した守備をし、石綿がインターセプトでボールを奪いそのまま落ちて着いてゴールへ流し込み7点目。

32分、相手のコーナーキックからゴール前で混戦になり守りきれず最後はミドルシュートを打たれ

失点してしまう。35分、相手のゴールキックを大音が奪いそのまま1人をかわしてゴールへ流し込み8点目。37分、前線にボールを持った丸風馬がドリブルで仕掛けペナルティ付近でファールをもらう。そのフリーキックを丸が右隅に見事に決め9点目を奪つ。39分、右サイドで持った三上が中へ切り込み各務へスルーパス。突破をばかり相手に倒されてPKが決めた。10点目。そして試合終了。大勝でリーグ戦を終えた。初参戦となった高体連Cチームのリーグ戦は、3位で終えた。3年生にとつては最後の公式戦。

ファールをもらいPKに。今度は大音が落ちて着いて右隅に決め、先制に成功。この得点が口火となり、星槎のゴールラッシュが始まる。6分、中盤で良いプレーからボールを奪い森熊涼が持ち込み各務明輝へスルーパス。各務がキーパーと一対一の状況でしっかりとゴールへ流し込み追加点。10分、中盤の森熊から左サイドの品田へスルーパス。品田の素晴らしいクロスから右サイドの佐藤が落ちて着いてダイレクトでゴールを決める。3点目。

17分、右サイドでボールを持った三上が縦に仕掛けてクロス。そのクロスが相手に当たりオウ



最終節に挑むスターティングイレブン

アーチエリート 横浜市市民体育大会 秋季大会



日常の練習風景

10月14日(日)神奈川県横浜市にある富岡アーチエリート場で、横浜市市民体育大会秋季大会が行われた。

星槎国際高等学校湘南からは、18m12m部門(18m36射12m36射合計72射720点満点)にブータンからの留学生ソナム・チョデン。30mダブルラウンド(30m36射を2回行う)に同じくブータンからの留学生であるニダップ・ドルジ。

そして50m30mラウンド(通称ショートハープ)にアーチエリート専攻監督である茂田佳裕が参加し、試合に挑んだ。

当日は風もなく気温も暖かく快晴でまさにアーチエリート日和。午前中に18m12m部門と30mダブルの部門が行われた。ソナム・チョデンは初めての公式戦に参加。試合前からとても緊張しており、ソフソフしていた。試合が始まるとスコアの計算を間違えてしまうほど緊張していたが、その緊張が功を奏した。緊張しているからこそ自分のやるべきことに集中することができ、的に意識が行くことなく、自分のやるべきことを最後までやり抜くことができた。

試合後に感想を聞くと、「緊張しすぎて、まっすぐ綺麗に射つことだけしか考えていなかった。結果を見るととても高い点数が出てよかったが、反省点もあり、しっかりとできていけばもっと高い点数を出せた。」とうれしさの中にも悔しさがあがり、まだまだ自分の結果に満足していない様子である。今回学んだこと、感じたことを無駄にせず今後活かしてもらいたい。

ニダップ・ドルジは2回目の公式戦。30mで300点を出すことを目標に試合に望んだ。しかし結果は1回目289点2回目294点と惜しくも目標を達成することができなかった。試合中当てることが意識が向いてしまい、自分のフォームで射つことができなかったことが大きな原因であったが、本人も「当てることに集中しすぎてしまっ、自分の射ち方を見失ってしまった。そのことに気が付くのが遅かった。次こそは300点を出したい。」と悔しそつに言っていた。

今回の試合で当てることだけに集中してしまっとうなってしまうのかどうなってしまうのかわかるだけでも大きな収穫である。今回の試合で両名とも多くの事を発見し学ぶことが出来た。

12月からはインドアシーズンが始まる。良い結果が出るように日々の練習に励んでいく。

監督 茂田佳裕
アーチエリート専攻

オピニオン

星槎国際名古屋副センター長

小野 暖未

前回はスポーツ傷害の一つである「疲労骨折」を紹介した。日々の練習が怪我を引き起こす要因となってしまう。練習をしなればうまくならないのだが、やりすぎてしまふことが怪我を引き起こし、練習ができないことでの体力や技術面の向上を図ることができないだけなく、精神的な不安を引き起こす。

私は小学生4年でソフトテニスに出会って、当時はソフトテニスばかりピック種目ではないことを知らなかった。ソフトテニスでオリ

生涯スポーツと関わっていくには

ピックに出たいと夢みていたこともあった。高校生の時には、私が住んでいた県では強豪と呼ばれる学校で練習をし、インターハイでの優勝を目指していた。そんな中で練習を休むということはできない、有り得ないことと自身が思うようになっていった。身体に痛みがあっても「大丈夫。動いていなければ痛くないし、すぐに直る。」と言いつつ練習に参加していた。

ただ、怪我は練習を続ければ続けるほど回復は遅く、治ることはなく、そのままの状態では試合に挑まなくてはならず、思ったような結果を出すことができない。私に元々そこまでの能力・技術がなかったこともある。ところが、今思えば、適切な時期に、適切な治療、休息をとることでもっと良い結果が出せたのではないかと考えることもある。

私は、たまたま大きな怪我ではなかったのだが、場合によっては、競技を継続していくことが困難な状況になってしまった。標準を定めていた大会に出られなくなった。いろいろな精神的なダメージによりその競技を引退するということを選択せざるを得ないことがある。どんなにそのスポーツが好きであっても。

私はスポーツを支える側になるというよりはプレイヤーでありたいと考えており、そんな私が出会ったのはローンボウルズである。ローンボウルズは簡単にいうと芝生の上で行うカーリングだ。ボウルを転がし、ジャック

と呼ばれる目標物に近づけるといふスポーツだ。カーリングと大きく違うのは目標にするジャックだが、それが球のため、ボウルが当たれば動くということである。目標になるものが移動するのである。つまり、状況次第では最後の一投で逆転させることができる。衝撃的な人が一緒にやることのでき、ルールも同じだったからである。そして車椅子の方が上手かった。年齢の方もこの競技をやっている、同じ大会に参加している、同じ大会に片麻痺を持つ人も試合をしたことがある。一生このスポーツをすることができると感じた。

また、ソフトテニスではインターハイに出場することができたのであった。この競技に出会ったこと、2011年にアジア・パシフィック選手権大会という国際大会に出場することができ、そこで4人チームで対戦していき部門で銅メダルを獲得することができた。

競技を変えることを勧めるわけではない。もちろん続けることは大事なことである。ただ、自分の身体は一生付き合っていくものである。ため、好きなことを好きなだけやっていくために身体成長に合わせた選択をしていかなければならぬ。ということである。好きだからこそ一生やり続けていくこと、身体を動かすことについて考えていってほしい。

ニュース速報

関東高等学校女子サッカー選手権大会 第3位

第27回 関東高等学校女子サッカー選手権大会に神奈川県1代表として出場した星槎国際湘南女子サッカー専攻は準決勝で東京都第2代表の修徳高等学校と対戦。0-2で敗戦した。翌日行われた3位決定戦で埼玉県第1代表の花咲徳栄高等学校に1-0で勝利。今大会は3位という結果となった。

星槎国際湘南男子バスケットボール専攻 県大会へ

平成30年度 神奈川県高等学校バスケットボール新人大会西支部予選に出場した男子バスケットボール専攻は1回戦で県立平塚中等教育学校、2回戦で県立伊志田高等学校、3回戦で向上高等学校に勝利し県大会出場を決めました。

宮澤ひなたさん、新人賞獲得

星槎国際湘南女子サッカー専攻の卒業生、宮澤ひなたさんがサッカー女子プレミアナadeshicリーグの新人賞を獲得した。

サッカー全日本高等学校女子選手権

五大会連続出場の星槎国際湘南女子サッカー専攻は昨年と同じく1回戦は大阪府の大商学園と対戦する。昨年度の借りを返す機会を得て選手は大いに張り切っている。今大会連覇を狙う静岡県の藤枝順心高等学校は夏の高校総体覇者の宮城県常盤木高等学校と対戦、1回戦から好カードが展開する。

野村克也氏「凡人の歩み」講演会

11月20日、星槎グループの地域貢献活動の一環として元楽天監督の野村克也氏による講演会が行われた。メイン会場の大磯プリンスホテルには800人、ネット中継を含めて1,200人が聞きいった。

星槎教師列伝

剣道を通して学んだこと

星槎国際八王子 教諭 坂本英之



剣道を始めたのは4歳の時。スポーツ少年団で先生をしている父、子どもたちの送迎とともに一緒に練習に励む母、常に目標であり続ける2人の兄。そんな剣道一家で育ち、気づくと竹刀を握り、大人になった今でも剣道を続けている。

日本武道館で行われる全国大会に初めて出場したのは小学校5年生の時。その後も北海道の強豪校で剣道を学び、大学では主将を務め、全日本学生剣道大会に出場することができた。私にとって剣道は心身の鍛錬であり、剣道で厳しいことを乗り越えてきたからこそ今の自分がある。

剣道を始めてきて嬉しかったことは、中学3年生の時の北海道中学校剣道大会。5人の団体戦のうち、中学から始めた初心者が二人いるチームだったため、歴代のチームと比べると力が劣っているといわれていた。それでも「全道一になる」という目標を掲げ、厳しい練習に耐え、時にはぶつかり合いながらもお互いを信頼し、技術とチームワークを強めていった。そして心から「このチームで優勝したい」という気持ちが一つになり、全道二位という成績を収めることができた。

目標の全道一にはなれなかったが、心から仲間とよべる存在と、かけがえのない時を過ごすことができたことがとても嬉しかった。

剣道を始めた時から教

セイスポ



思いを繋ぐ

歴史の1ページ 初出場!

今回もスタートこそ遅れはしたが、みんなで遅れを挽回し、目標の20位以内を達成してくれた。駅伝を通してチームが一つになり、星槎国際湘南陸上専攻に新たな1ページが刻まれたと感じている。(星槎国際湘南 陸上競技専攻 坂田和)

注 出場資格は、エントリーの上位5人の5000m平均タイム17分15秒以内で、平成29年度と平成30年度9月30日(日)までの記録とする。また、留学生は高体連規約で1名のみ出走できる。

創部3年目で、第71回神奈川県高校駅伝競走大会に初出場をすることができた。71回と伝統ある駅伝大会に参加できることに感謝したい。そして、これまで来られたのも宮澤会長をはじめ、星槎グループ、関係者の皆様のご理解とご協力があったの事だと深く感謝している。

VOICE

1区(10km) 力石 隆太郎

この駅伝に向けて、自分たちは日々の練習を積み上げてきた。その中でみんな調子を上げて、良い感じで仕上げてきた。自分もいい動きができていたのですが、いざ本番になると、今までにない緊張とプレッシャーに負けてしまい、周りにも雰囲気も吞まれてしまった。色々な弱み自分を知れて、いい経験になった。みんながいい走りをしていて、自分も自分自身で呼吸になってしまったけど、とにかく「繋ぐ」という思いが強かった。何とかが繋がりました。チームとしては20位で少し悔いが残ってしまったので、来年のチームで必ずリベンジしたい。そして個人では最高の走りをし、チームとして

2区(3km) 吉村 快

今回の駅伝では2区の3キロ区間に選んでいただきましたが、自分の得意とするスピードを活かせず終わってしまいました。自分は、400mトラックと違った場所でも走れないところが弱点であると思った。繋ぐの受け渡しの時に1区を走った力石の持ってきた繋ぎには、「必ず繋ぎたい」という気持ちが入り込んでいた。その気持ちに込められるように練習を積み、来年はリベンジします。

3区(8.1075km) デジエン・テスフェレム・ウエルドゥ

走っているときは、何も考えずにただ無になっ

4区(8.0875km) 長野 真樹

今回初めて県高校駅伝を走り、場の雰囲気にも慣れてしまっていた場面もありました。来年は今回見つけた課題を克服し、関東大会を狙って欲しいです。

5区(3km) 栗田 伊吹

今回は駅伝を走らせてもらった。普段は短距離を専門にしているので駅伝に参加させてもらえることが貴重で、自分も自分の走りをして関東大会に進みたい。また、今回の駅伝はたくさんの方のご協力があったので、感謝を忘れずに今後の練習、大会に励んでいきたい。

6区(5km) 瀬戸 大二郎

今回自分にとって高校での初めての駅伝だったので緊張しながら挑んだ駅伝でした。ですが、自分一人だけではなかったのでも緊張してしまいましたが、他の強いチームを見るとあまり緊張していない人が多くいた。自分もそう言う気持ちをコントロールする事が上手くないので、やはり強い選手は違うと思います。そして、肝心の走りもあまり上手くないままに、修正点課題が多く見つかった試合だったので、来年にはもう1ランク上げて県駅伝に挑みたい。

7区(5km) 園田 幸之介

今回高校駅伝を走らせていただき、本当にたくさんの方に支えられ、そのおかげで、大会の中で縦パスの意識が上がり、相手のポジションによって自分のポジションを変えようという意識が残り、課題として残りました。

第71回 神奈川県高校駅伝競走大会 結果 (区間ごとの成績)

◆1区	10km	力石 隆太郎	35分42秒(区間54位)	区間記録	30分35秒
◆2区	3km	吉村 快	9分30秒(区間26位)	区間記録	8分16秒
◆3区	8.1075km	デジエン・テスフェレム・ウエルドゥ	38人抜き 24分33秒(区間1位/区間賞/区間新記録)	区間記録	25分06秒
◆4区	8.0875km	長野 真樹	27分43秒(区間23位)	区間記録	24分55秒
◆5区	3km	栗田 伊吹	10分46秒(区間56位)	区間記録	8分33秒
◆6区	5km	瀬戸 大二郎	17分02秒(区間14位)	区間記録	15分34秒
◆7区	5km	園田 幸之介	17分17秒(区間42位)	区間記録	15分06秒

総合結果 2時間22分33秒 20位/63チーム

この課題を全国大会までの期間で徹底的に取り組み克服し、良いコンディションで全国大会に挑みたい。引き続き応援よろしくお願いします。

いつも私たちの活動を応援して頂きありがとうございます。皆さんの応援のおかげで全国大会へ出場を決めることができました。大会の中で縦パスの意識が上がり、相手のポジションによって自分のポジションを変えようという意識が残り、課題として残りました。

いつも私たちの活動を応援して頂きありがとうございます。皆さんの応援のおかげで全国大会へ出場を決めることができました。大会の中で縦パスの意識が上がり、相手のポジションによって自分のポジションを変えようという意識が残り、課題として残りました。

いつも私たちの活動を応援して頂きありがとうございます。皆さんの応援のおかげで全国大会へ出場を決めることができました。大会の中で縦パスの意識が上がり、相手のポジションによって自分のポジションを変えようという意識が残り、課題として残りました。

いつも私たちの活動を応援して頂きありがとうございます。皆さんの応援のおかげで全国大会へ出場を決めることができました。大会の中で縦パスの意識が上がり、相手のポジションによって自分のポジションを変えようという意識が残り、課題として残りました。

選手権関東予選5年連続 全国大会出場



南校高校戦前の星槎イレブン

神奈川県第1代表として第27回関東高等学校女子サッカー選手権大会に臨んだ。昨年は準優勝と悔しい思いをしているだけに、生徒の意気込みは十分にあった。しかし、県予選から練習まで、様々な場面でも思い描く星槎らしさが出ない。その逆境的な状況乗り越えたチームは強くなる。実際にそ

のように前向きに捉えて日々の生活を送れる生徒は少ない。そんな少し不安のある中で、第1試合の埼玉県第2代表の埼玉県立南校高等学校と対戦した。

初戦はいつも緊張からか硬さが出たのスタートであったが、相手の隙を突き先制点をあげる。しかし、直後に相手のフリーキックから失点を許し、ふりだしに戻った。そのまま前半は同点で折り返すかと思ったが、追加点を奪いリードしながら後半に臨んだ。後半は星槎がボールを持つ展開が増えて、チャンスがたくさん生まれ3得点を挙げる試合となり、6-1で勝利することができた。

2回戦は勝利すると全国大会出場が決定する試合である。対戦相手は栃木県第1代表の宇都宮文星高等学校。立ち上がりから相手は猛攻を仕掛けてきた。星槎は自陣でボールを繋ぐことが多く苦しい試合展開だった。そんな中、相手のロングフィードの処理を誤り、サイドを突破されるとゴール前にセンターリングがあがり、きっちり決められた。先制点を許してしまっ

た。しかし、焦ることなくその後も自陣からパスを繋いで、ミスに恐れることなく星槎らしく着実にパスを繋いで、チャンスを作り相手ゴールを脅かした。その結果コーナーキックから得点を奪い前

半をなんとか引き分けて折り返した。相手の戦術を再度確認し、後半星槎がどのようにするか頭を整理して臨んだところ、相手陣地に侵入しチャンスを作りシュート本数を増やしていった。そうするとゴール前で華麗なパス回しから得点を奪うことに成功し3得点を挙げて、4-1で勝利することができた。

以上の結果より、今年度も全国大会出場が確定した。創部以来選手権は全国大会にすべて出場している。5年連続での全国大会出場である。しかし、成績は初めて出場した2回戦敗退が最高である。今年度こそはその先に向かえるように、チーム一丸となり、チーム力を持って星槎らしく全国大会に臨みたい。毎年の関係者の方々や星槎の仲間からの励みやご支援に本当に感謝申し上げます。精一杯目の前の試合に臨み、皆様に感動をお届けできるようにプレーします。ご声援の程、お願い申し上げます。

VOICE

副キャプテン 針生理菜

応援ありがとうございます。皆さんの応援のおかげで全国大会へ出場を決めることができました。大会の中で縦パスの意識が上がり、相手のポジションによって自分のポジションを変えようという意識が残り、課題として残りました。

高井 咲都

いつも私たちの活動を応援して頂きありがとうございます。皆さんの応援のおかげで全国大会へ出場を決めることができました。大会の中で縦パスの意識が上がり、相手のポジションによって自分のポジションを変えようという意識が残り、課題として残りました。

黒柳 智世

いつも私たちの活動を応援して頂きありがとうございます。皆さんの応援のおかげで全国大会へ出場を決めることができました。大会の中で縦パスの意識が上がり、相手のポジションによって自分のポジションを変えようという意識が残り、課題として残りました。

松尾 美月

いつも私たちの活動を応援して頂きありがとうございます。皆さんの応援のおかげで全国大会へ出場を決めることができました。大会の中で縦パスの意識が上がり、相手のポジションによって自分のポジションを変えようという意識が残り、課題として残りました。